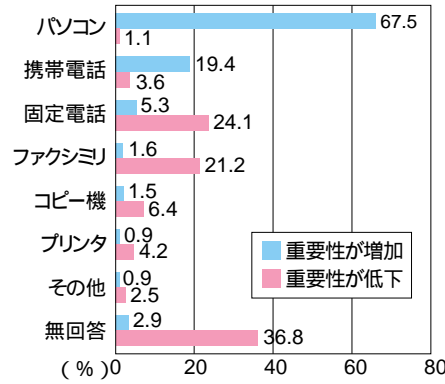


中小企業IT化への意識

フォーバルの調査「小規模事業経営からみる情報・通信サービスの現状と将来」より

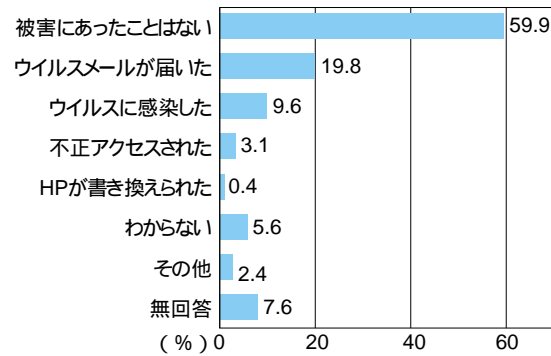
1 将来的にあなたのビジネスにとって重要性が最も高まると思うものは何か。また反対に重要性が最も低下すると思うものは何か。



小規模事業経営者の7割
近くが「今後パソコンが
ビジネスに重要」と認識

2 あなたの会社で、これまでに情報通信で実際に被害にあった経験は？（複数回答）

深刻なIT被害を
受けるケースは
まだあまりない



3 ビジネスの世界におけるITの将来的不安要素は何か。（複数回答）

事故や犯罪よりも、
機械や技術に取り
残される不安の
ほうが大きい

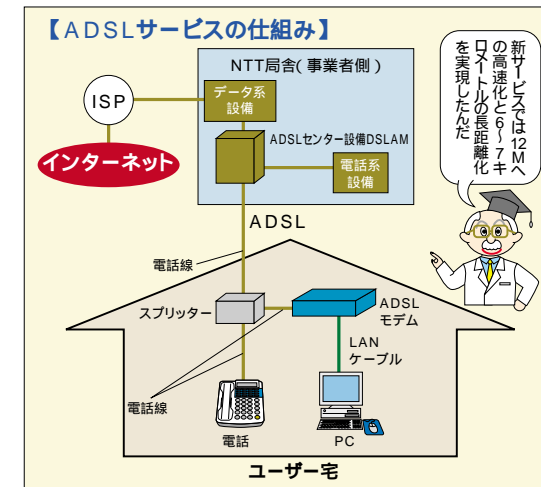
不安要素	全体	年代別			
		30代	40代	50代	60代~
知識が追いつかなくなる	44.3	55.6	40.0	47.8	41.5
使いこなせなくなる	41.6	24.4	31.8	44.4	45.6
不正アクセスによる情報漏洩	32.8	37.8	38.8	32.9	27.9
却って業務が増えてしまう	21.6	26.7	16.5	22.2	24.5
投資が追いつかなくなる	20.3	24.4	18.8	24.2	14.3
サービス提供元が潰れてしまう	17.4	28.9	20.0	15.5	16.3
その他	2.0	8.9	2.4	0.5	2.0
無回答	4.9	2.2	4.7	3.9	8.2

調査 株式会社フォーバル

調査時期 2002年5月31日～6月20日
調査対象 東京・名古屋・大阪の小規模事業経営者（主に従業員が20名以下）
調査方法 フォーバルの顧客先を回り、経営者から聞き取り調査
有効サンプル数 551人/社

図解！ IT時代の常識ことば

ADSL (エーディーエスエル)



ADSLとは、既存の電話回線を利用して高速インターネット接続を実現する技術だ。当初ADSLサービスは下り最大15Mビット/秒の速度で回線接続料金とISP(インターネットサービスプロバイダ)料金を合わせて月額6000円前後という価格

れに伴い、市場での認知度も向上し、Yahoo!BBがサービスを開始する直前の2001年8月末で約51万だった国内の加入者数が2002年10月末には約464万加入にまで増えた。ADSLサービスの普及はインター

で提供されていたため、一般ユーザーには敷居の高いものだった。しかし、2001年9月にYahoo!BBが下り最大8Mビット/秒のサービスを月額2280円という低価格で始めたことで、他社もこれに追随。高速化と低価格化が一気に進んだ。

ネットの利用シーンも大きく変えた。まず、従来最も速かったISDNでも64キロビット/秒だったが、15Mで約23倍、8Mでは約12.5倍の高速化を実現。それまでのホームページの閲覧やEメールの利用だけでなく、映像配信などの大容量コンテンツも楽しめる

また、15キロメートル以内の距離でも、利用者が集中する時間帯はもちろん、屋外に引かれた電話線の状態やAMラジオ等によるノイズの発生など、さまざまな要因で速度が低下することがある。

また、15キロメートル以内の距離でも、利用者が集中する時間帯はもちろん、屋外に引かれた電話線の状態やAMラジオ等によるノイズの発生など、さまざまな要因で速度が低下することがある。

一方、ADSLにはデメリットもある。必ずしも最高速度が保証されないベストエフォート型サービスという点だ。8Mサービスでいえば、8Mの速度で利用できるのはNTT局舎から約15キロメートルまでのユーザーに限られ、局舎から離れれば離れるほど利用できる最高速度が低下する。さらに4キロメートル以上離れると、サービスを受けることが難しくなる。これは、高速化を実現するために下りに利用した高周波数帯域(8Mの場合は138kHz～11MHz)が、距離に比例して電波が減衰するという特性を持つことによる。

一方、市場での認知が進んだことで、中小企業を中心にADSLをインターネット接続や拠点間を結ぶVPN(バーチャルプライベートネットワーク)のアクセス回線として利用したいというニーズが高まっている。これにいち早く対応したのがアッカネットワークスで、品質とセキュリティを向上したネットワークを実現。各ISPから同社の回線を利用したメニューが登場している。企業ニーズへの対応はNTT東西などもメニューの検討を進めており、今後は企業への導入が積極的に進むとみられる。

よつになった。また、ISDNでも採用されていた固定料金制が定着したことで、ユーザーは安価な料金で時間を気にすることなくインターネットを利用できるようになった。

企業向けのメニューも登場。ADSLはさらに高速化し、今秋下り最大12Mのサービスが各事業者から出揃った。8Mサービスと同様に12Mの速度で利用できるユーザーは限定されるが、各社の公表値をみると、すべてのユーザーが8Mサービス比で平均500k程度の速度向上が見込める。また、併せて長距離化も実現。局舎から6.7キロメートル離れたユーザーもADSLサービスが受けられるようになり、特に局舎からの距離が遠いことがネックとなっていた地方でのサービス提供も容易になった。